

一宮町教育大綱^(案)



<はじめに>

一宮町は、サーフィンが盛んで2020年東京オリンピックにおいてオリンピック史上初めてのサーフィン競技大会の開催地となったこともあり、県内で多くの自治体が少子高齢化の急激な進展と人口減少、それに伴う活力の低下に直面する状況にあって、活力を維持しています。しかしながら当町においても社会人口問題研究所の報告によれば、2040年の人口は、2015年に比べ6.8%減少すると見込まれており、少子高齢化問題は避けて通ることができない課題となっています。

一方、少子高齢化が進展する中、人生100年時代が到来するとも言われており、町民一人ひとりがその生涯にわたって、自律的に学び、様々な能力を身につけ、その成果を社会で生かしていくことができる生涯学習社会の実現を目指していくことが求められています。

さらに、※IoT(Internet of Things)や※ビッグデータ、AI(人口知能)等の技術革新の一層の進展により、近い将来、今ある仕事の多くがコンピュータに代替されるとの指摘もあるなか、子どもがこうした新たな時代を生きていくために必要な能力を育む必要があります。

加えて、自分の町でオリンピックが開催されるという、多くの町民にとって生涯またとない機会を、多くの町民が世界に目を向け世界とつながっていくような機会として生かす施策を進めることも重要です。

このように、子どもたちが、これからの新たな時代を力強く生きていける力を育むとともに、大人も人生100年時代を生き生きと過ごせる一宮町の実現を目指して「一宮町教育大綱」を定めます。

<大綱の位置付け>

大綱は、平成27年4月1日改正施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(地方教育行政法)」第1条の3に規定されるものです。

これは、今後の本町教育を推進するための基本指針となるものであり、国が定める教育振興基本計画や千葉県教育振興基本計画を参考にして策定したものです。

※ IoT(Internet of Things) 様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

※ ビッグデータ(Big Data) 従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような膨大なデータ群。

※ 第四次産業革命 IoT、AI、ビッグデータが作るイノベーションで第四次産業革命の三本柱となるのがIoT、AI、ビッグデータ。

<目 標>

『将来の町と国の担い手となり 世界に羽ばたく若者の育成』

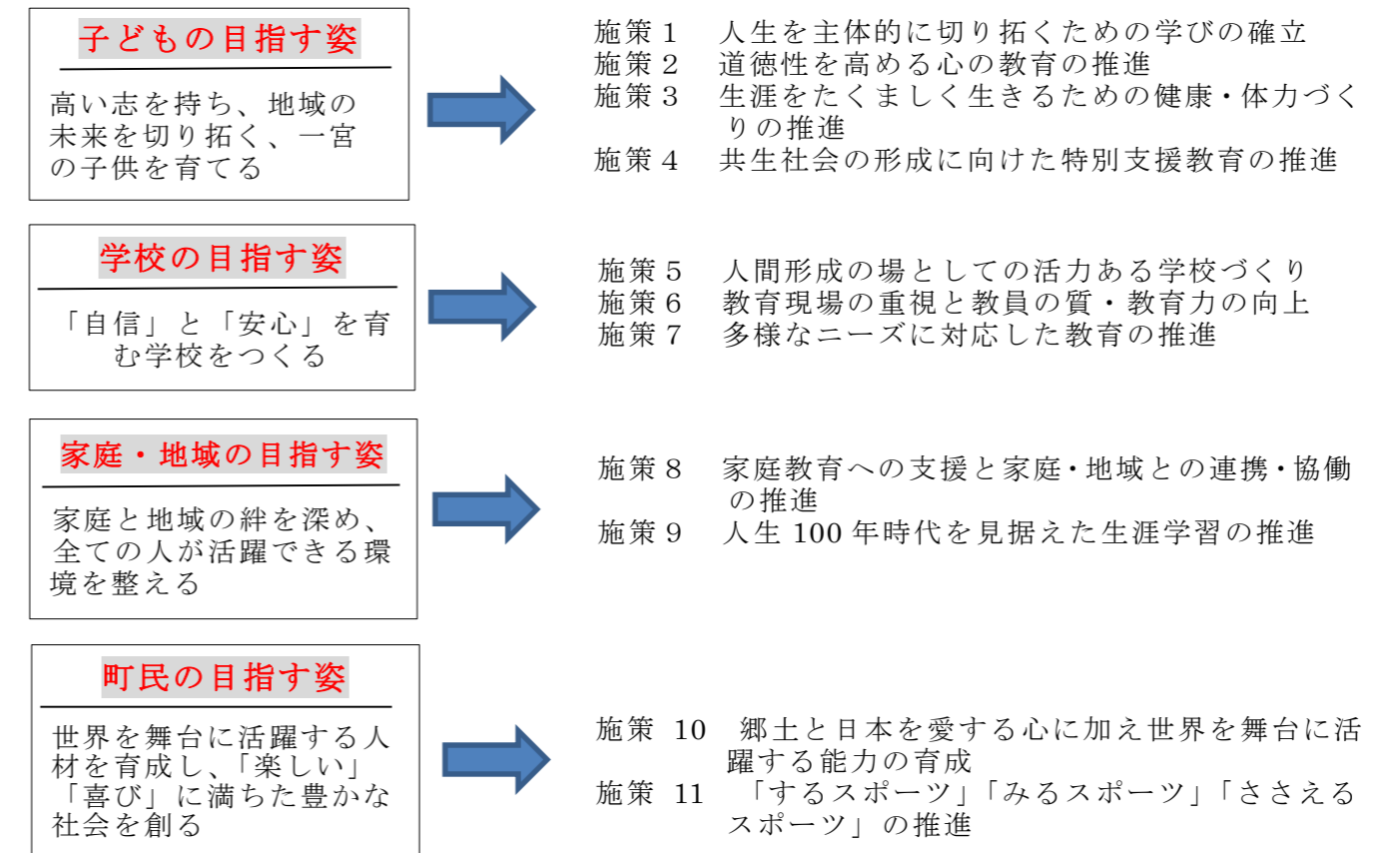
～学校・家庭・地域で

「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」を合言葉に～

<基本理念>

子どもたちが自己肯定感を高め社会主権者として、「町民としての誇り」を抱いて未来への第一歩を踏み出すために、学校・家庭・地域社会が連携を深め、子どもたちに関わっていく。更には、※第四次産業革命の時代を迎える中、創造力・健全な批判精神・おもてなし・道徳性・倫理性などの「人間の強み」を育み、グローバル時代に必要な資質・能力を高め、地域を支えるとともに「世界とつながる人材」を育てることを基本理念とする。

4つの基本目標と施策



<期 間>

期間は2021年度を始期、2025年度を終期とする5ヶ年間とします。